

委員長 法橋尚宏（神戸大学大学院保健学研究科）

委員 河原宣子（京都橘大学看護学部看護学科）

小林京子（神戸大学大学院保健学研究科）

1. 各国（とくにアジア圏）との情報交流，連絡協議会の発足に向けての話し合い

- 1) 9th International Family Nursing Conference (9th IFNC) (2009 年 6 月 4 日，アイスランド) にて，2008 年 3 月にアジア圏で実施した調査をポスター演題として発表した。
- 2) 第 1 回日中韓看護学会 (2009 年 8 月 19 日～21 日，北京) にて，『家族看護学研究』掲載論文に関する分析内容を演題として発表した。
 - ・参加者は 1,900 名以上であると推定される。国際交流委員会のちらし (10th IFNC の案内，『家族看護学研究』への投稿投稿の勧誘) 500 枚，学会英文パンフレット 300 部，10th IFNC のポスター 300 枚，10th IFNC のハガキ 300 枚を配布した。
- 3) 2008 年 3 月にアジア圏で実施した調査の報告書「The Current Status of Family Nursing Education and Research in Asian Countries and Promotion of International Exchanges」のコピーを発送した (調査対象とした 325 施設)。
- 4) アジア圏の家族看護学関係者間を対象とした交流のための意見交換 (電子メールなどを活用) を行った。

2. 海外との研究交流 (海外からの『家族看護学研究』誌への投稿など)

- 1) 日本家族看護学会の英語版リーフレットを更新した。9th IFNC にて，日本家族看護学会の英語版リーフレットを配布した (約 150 部)。
- 2) 海外からの論文投稿の推進のため，325 施設への勧誘文と投稿規定を発送した。

3. 9th International Family Nursing Conference (9th IFNC) の情報提供，飛行機・宿泊の補助

- 1) 9th IFNC (アイスランド) に関する情報提供を学会 Web で実施した。
- 2) 9th IFNC 参加ツアーを実施した。参加者 28 名，添乗員 1 名であった (新型インフルエンザの発生により，6 名が直前キャンセル)。

4. 海外からの窓口業務

- 1) 9th IFNC に関する日本の窓口として機能した。
- 2) International Family Nursing Association (IFNA) に関する日本側の窓口となっている。

5. その他

- 1) 9th IFNC に関する報告書 (『家族看護学研究』，15 (2)，153-155，2009 に掲載)。
- 2) 第 1 回日中韓看護学会などに関する報告書 (『家族看護学研究』，15 (3)，55-56，2010 に掲載)。

(以上)